ISHIKAWA

水戸市立石川中学校　学校便り　No.12

令和４年 12 月 22 日（木）文責　砂田　和広

※石川中 HP に掲載

# ☆明るく　元気に　笑顔で　自分らしく☆

## ★もうすぐ冬休み★　～今年を振り返って～

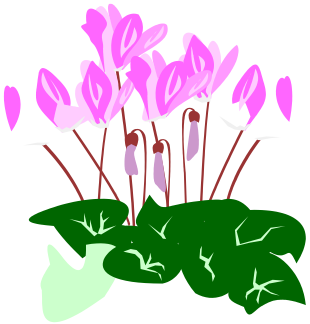
12 月 24日から冬休みに入ります。今学期は多くの行事がありました。４０周年記念行事として体育祭やコスモス祭・合唱コンクールを行いました。生徒のみなさんが考えを出し合い、みなさんが作り上げた行事となりました。練習や準備等を進める段階では、意見や考えが合わなかったり、思うように上達しなかったりと難しい場面もあったと思います。でも、それを乗り越えてきたことが、一人一人の力、学級の力、学年・学校の力につながるのだと思います。この力を、行事の時だけに終わらせず普段の生活の中に生かしていくことが、何より大切となります。また、生徒会の役員さんを中心に、校則の見直しを行い、一部ではありますが改正できたこと、素晴らしいと思います。みなさんの学校ですから、みなさんが考えや意見を出し合って築き上げていくことが望ましいと考えています。

今年も残りあとわずかとなりました。３年生は、いよいよ受験本番となりますが、焦りは禁物です。やれることを一つ一つクリアしていくことです。１・２年生も１年を振り返り、新しい年に新たな目標が持てるようにしましょう。新学期みなさんが元気に登校できることを期待しています。

## ★伝える力★　～伝えたいことが伝わる～

みなさんは、伝えたいと思ったことが、きちんと伝わっていなかった経験はありませんか？私は何度もあります。そのたびにどう表現すれば伝わったのかなと考えます。授業において、自分の考えや思いをみんなに伝わるように表現するのに戸惑ったことや、友達との会話の中で、伝えようとしたことがよく伝わらず誤解されてトラブルになったことなどもあります。きちんと伝えるということはなかなか難しいものです。伝わりやすく話すには、「声の大きさ」「話すスピード」「声の強弱」「表情」等、もちろん「内容」も大切です。授業で考えを聞かれたとき、「私は、このことについて〇〇〇のように考えます。その理由は〇〇〇です。」のように話せればわかりやすく、きちんと伝わるのではないでしょうか。SNS が発達して、誤解を招くような表現が多くみられます。人間社会において、正しく伝わるように表現できること、「伝える力」は、とても大切なものです。相手に伝わる表現について考え、実践してみてください。

## ★学力アップのために★　～当たり前のことを地道に～

３年生は、これから受験本番となります。どんな勉強方法が学力アップにつながるのか、いくつか挙げてみます。今までもやっていたと思いますが、確認してみましょう。

- 覚えられないことに絞って繰り返す。
- 大事なところには線を引く。
- 覚えるべき用語はマーカーを付けたり囲ったりする。
- 理解しにくい箇所は繰り返し読んだり、ゆっくり読んだりする。
- わかりにくいところは図解してみる。
- 頭の中の考えを整理するには箇条書きにしてみる。
- まとめノートを作成する方がよい成績が取れる。
- 間違った問題は繰り返し解いてみる。
- 解答は必ず見直す。など